

◆ 多文化共生のまち福島 推進パッケージ 【令和3年度予算版】

〈福島県福島市〉

【背景】

- 東日本大震災からの着実な復興に伴い本市外国人旅行者が増加（R1年：約3万6千人）
- 人口減少と市内在住外国人の増加（令和2年12月末在住外国人1,931人）
- 入管法改正により創設された在留資格「特定技能」による外国人労働者の受入拡大
- オリンピック・パラリンピック東京2020大会の開催による世界の注目・関心

【課題】

- 外国人との共生意識の醸成
- 多言語化や外国人への案内・相談機能などの受入環境の整備
- 外国人等に対する日本語教育機会の拡充
- 東京2020大会の開催等を通じ、全世界に本市の魅力発信

【目指すべき姿】

- 市民一人ひとりがお互いに認め合う多様性を尊重したまち（多文化共生のまち福島の推進）

施策目標1： 国籍や文化的差異にかかわらず相互に理解し、互いに尊重し合う共生社会を推進します。

(1) 地域における国際化と多文化共生の推進に努めます。

《主な事業》

- ① 市国際交流協会が企業・団体と連携して実施する、多文化共生推進のシンボルイベント「結・ゆい・フェスタ」の開催を支援します。【定住交流課/拡充/予算2,000千円】
- ② ホストタウン国選手との交流やホストタウンフェスティバル開催等の事業を実施します。【オリパラ推進室/継続/予算6,389千円】

(2) 外国人等の地域文化・社会に関する学習機会の確保に努め、外国人等が活躍できる地域づくりを進めます。

《主な事業》

- ① 日本語指導サポーターや母語支援員の派遣、外国人児童・保護者のための放課後親子教室の開催、地域の日本語教室の活用促進などを通じて、日本語や日本文化の学習機会を提供します。【定住交流課/一部新規/予算2,800千円】
- ② 市国際交流協会を通じ民間団体と連携しながら、異文化理解講座や交流イベントを開催します。【定住交流課/継続/予算2,000千円】

(3) 誰もが地域社会とのつながりを感じ、犯罪やテロ等の脅威にさらされない安全・安心な共生社会づくりに努めます。

《主な事業》

- ① 学習センターや団体・関係機関等と連携し、福島での生活習慣や防災等に関する講座を開催します。【定住交流課/継続/再掲(2)②】

施策目標4： 外国人等を取り巻く生活サービス・環境の改善に努めます。

(1) 外国人等の受入環境の整備・改善に努めます。

《主な事業》

- ① インバウンド受入のための多言語表記や接客英語、情報発信等について、市内事業者に対し個別コンサルティングを実施します。【観光交流推進室/新規/予算5,000千円】
- ② ホストタウン国選手との交流やホストタウンフェスティバル開催等を通じ、地域における外国人受入意識の醸成を図ります。【オリパラ推進室/継続/再掲1(1)②】
- ③ 市内大学に通う外国人留学生の国民健康保険の加入助成を通じ、生活の安定を図ります。【定住交流課/継続/予算1,720千円】
- ④ 外国人のワンストップ生活相談窓口を開設し、多言語での相談・行政手続の支援を行います。【定住交流課/継続/再掲2(1)②】

(2) ユニバーサルデザインの視点から、外国人等にとっても安心でき、住みよい社会インフラ整備に努めます。

《主な事業》

- ① 旅客施設や飲食店などのバリアフリー情報を確認できるWEBシステムについて、掲載情報を多言語化します。【交通政策課/拡充/予算3,000千円】
- ② 市庁舎の各表示板や案内板の修繕に併せ、多言語化を進めます。【管財課/継続/予算759千円】

施策目標2： 外国人等が不安なく本市を訪れ、暮らすことができるよう、適切な情報伝達・共有手段の確保に努めます。

(1) 行政サービス・生活情報の多言語化を進めます。

《主な事業》

- ① 市政だより等のデジタル情報を9言語で翻訳し、音声読み上げが可能な機能で提供します。【広聴広報課/継続/予算495千円】
- ② 外国人生活相談窓口での外国人相談員による多言語での生活相談・案内に加え、市の窓口担当職員向けに「やさしい日本語」研修を実施し、情報発信機能を強化します。【定住交流課/一部新規/予算4,898千円】

(2) SNS等多様なメディアとの連携・強化により、外国人等への積極的な情報提供に努めます。

《主な事業》

- ① 市や市国際交流協会のフェイスブック等のSNSを活用し、イベントや災害情報等を多言語で提供します。【定住交流課/継続/予算一】
- ② 放射能検査体制など農産物の安全確保の取組について、英語併記のパンフレットを作成します。【農業振興課/新規/予算2,329千円】

施策目標5： 外国人等の受入状況やニーズの把握に努め、地域の国際化や外国人等の受入れに関する施策の充実・強化に努めます。

(1) 国際交流員(CIR)等の任用を通じ、国際感覚・視野のもと、国際化の推進を図ります。

《主な事業》

- ① 海外から招致した国際交流員(CIR)1名を任用し、高次の国際交流活動を推進します。【定住交流課/継続/予算5,162千円】
- ② 海外から招致した外国語指導助手(ALT)19名を小中学校に配置し、英語教育を強化します。【学校教育課/継続/再掲3(2)①】

(2) 外国人等の意識調査・受入状況調査を行い、ニーズの把握に努めます。

《主な事業》

- ① 外国人のワンストップ生活相談窓口での相談・支援を通じ、外国人のニーズ把握に努めます。【定住交流課/継続/再掲2(1)②】
- ② 外国人留学生への生活支援に併せ、福島での生活に関する意識調査を行います。【定住交流課/継続/再掲4(1)③】
- ③ 本市の国際化に関する統計データ整理とともに、有識者等からなる情報共有会議を開催します。【定住交流課/拡充/予算221千円】

施策目標3： 日本語教育や国際理解の推進等により、外国人等との円滑なコミュニケーションの実現を図ります。

(1) 海外にルーツを持つ児童生徒やその保護者に対して、日本語教育の充実を図ります。

《主な事業》

- ① 海外出身児童等の日本生活への早期適応のため、日本語指導サポーターや母語支援員を派遣するほか、親子を対象とした放課後親子教室を開催し、その者の事情や日本語能力に応じたきめ細かな日本語教育を実施します。【定住交流課/一部新規/再掲1(2)①】
- ② 市内の日本語教室に通う日本語学習者の教材費の一部を支援し、日本語教室の活用を促進します。【定住交流課/新規/再掲1(2)①】

(2) 国際理解講座の開催や英語教育の充実を図ります。

《主な事業》

- ① 海外から招致した外国語指導助手(ALT)19名を小中学校に配置し、英語教育を強化します。【学校教育課/継続/予算102,756千円】
- ② 市国際交流協会が民間団体とともに実施する国際理解講座や交流イベントの開催を支援します。【定住交流課/継続/再掲1(2)②】

(3) 在住外国人等のコミュニティづくりやネットワーク化の支援に努めます。

《主な事業》

- ① 市国際交流協会において、コミュニティづくりやネットワーク化に資する活動に対し助成します。【定住交流課/継続/再掲1(2)②】

施策目標6： 外国人等受入施策を包括的に推進するための体制整備を図ります。

(1) 市庁内における外国人等受入に係る横断的な推進体制を整備します。

《主な事業》

- ① 庁内ワーキンググループを開催し、庁内の情報共有と包括的な外国人受入施策の展開に努めます。【定住交流課/継続/予算一】

(2) 外国人等受入に係る関係機関・団体との連携強化を図ります。

《主な事業》

- ① 有識者や各生活分野関連団体等からなる情報共有会議の開催を通じ、各生活分野での外国人等受入に係る情報の共有と本市多文化共生推進指針のフォローアップに努めます。【定住交流課/継続/再掲5(2)③】
- ② 市国際交流協会の広報活動を通じ、国際交流団体や外国人受入機関等の他団体の活動をPRします。【定住交流課/継続/再掲1(2)②】
- ③ 国等の関係機関と連携した外国人就労・定着支援のあり方について引き続き検討します。【産業雇用政策課/継続/予算一】